

R. I. District 2610. ROTARY CLUB OF UOZU

## 魚津ロータリークラブ会報誌

2013-2014年度 RI会長 ロン D. パートン

2013-2014年度 魚津RC会長 若井 貞克



### 第2898回例会報告

2013年11月29日

- ・点鐘・握手
- ・ロータリーソング  
「我等の生業」



ゲスト並びにビジターの紹介

なし

### 誕生祝

12月5日 羽田さん

12月5日。来週が誕生日です。

高校を過ぎてから50年。女房知り合って  
40年の月日が経ちました...

これからも会話を続けながら新しい人生  
を過ごせばなと思っています。



12月3日 若井さん

今日は私の誕生日を祝っていただきましてありがとうございます。私は早いもので61歳になります。店を開いて36年。その前に板前修業を10年。自分の人生の半世紀を板前修業に没頭していた気がします。これからも一生懸命、技術を磨きながら頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



## 開会挨拶 若井会長

皆さんこんにちは。今日は2898回例会です。

11月最後の例会です。12月3日若井さん、5日羽田さん、お誕生日おめでとうございます。

来月の第一例会は、7月1日より半年間の活動報告会です。各委員長は準備をして下さい。

さて、今週の初めに魚津市で火災がありました。

我々の仲間である小浜さん宅が被害に遭う火災で、本人もクラブに大変迷惑をかけたと承服していました。母親も亡くなりましたが気丈に振舞っている姿に胸が詰まる思いでした。

クラブでは、魚津ロータリー・クラブの弔慰・見舞規定に従い見舞金を渡しましたが、本人き固く辞退されました。

当クラブとして魚津市に義援金30万円を出したいと思いますので皆様のご了解をいただきたいと思います。



## 吉森さん

私の大事な友達である小浜さんが大変な事に遭い、また、お母さんが亡くなりました。今朝も彼女から電話がありまして、自分に対する義援金は固く辞退させていただきたいとの事でした。もし、そのような気持ちがあれば魚津市へ義援金としてお願いしますとの事でした。

## 幹事報告 愛宕幹事

★ガバナー事務所より

- ・ロータリアン配偶者、パートナー奉仕功労賞候補者推薦について
- ・フィリピン中部地域大災害復旧支援義援金へのご協力のお願いについて

★つくし学園より

- ・クリスマス会のサンタクロース派遣のお願いについて（社会奉仕委員会で対応）

★12月例会案内

- 6日 各委員長前期活動報告・・・・・・（サンルート）
- 13日 卓話 中尾さん・・・・・・（サンルート）
- 19日 年忘れ家族会・・・・・・（グランミラージュ）

★11月SAA補助・・・宮本さん、寺田さん、山澤さん

## 出席報告 三島委員長

- ★本日の出席者 33名 欠席者5名 出席率 86.84%
- ★第2896回のメイクアップ なし 修正出席率 73.68%⇒73.68%

## ニコボックスの報告

寺田委員長

★宮本さん

長期欠席をお詫びします。

★寺田さん

一日も早く、小浜さんの何時もの穏やかな笑顔にご挨拶が出来る日が来ますように。

## 委員会報告

中田親睦活動副委員長

年忘れ家族会を12月19日に開催が決定しました。皆さんには、すでにご案内が届いていると思いますが、楽しい企画内容になっていますので多数の参加をお願いします。



## 本日の卓話

「職人のひとこと」辻 浩さん

馬鹿でできず、利口でできず

中途半端でなおできず

今の世の中、何でも職人のせいにする。建築の質が悪いのは、職人の質が落ちたんだって。でも職人が悪くなったのはね、まわりに悪くさせられたのよ。

頼む人や考える人、まとめる人が悪いのよ。まともにやっていたところには、いい職人が育っています。だけど物を作る人に「消費は美德だ」なんてことを教えちゃうと、いい職人は育たない。大体、職人というのは、馬鹿でできず、利口でできず、中途半端じゃなおできない。職人が足りないから学校で作ろうかなんて馬鹿にしているよ。大体、建築が悪いのを職人の問題にするなんて、する方が悪い。頼む人がずるくなって、考える人やまとめる人が能力無くなったのに、一番弱い立場の職人のせいにする。この三つを直さないでだめ。



- 1 掃除をきちんと出来ない奴は、ロクなものじゃありません。物を作る人間は、まず、掃除から修行すべきです。
- 2 私もいっばしのプロになりましたので威ばってる職人がいたけれど、<いっばし>ってというのは、<一番はしっこ>ということになる。威ばって言う事じゃない。

3 評論家が偉そうに善し悪しを言うけれど、あれは善し悪しじゃなくて、好き嫌いを言っているだけ。

4 よく畳にタバコの焦げ跡があるでしょう。素人でも簡単に取れる。

目に沿って焦げている草を抜いて、左右から丹念にたたくように、その隙間を寄せる。畳はそのようなものです。畳屋は、黙ってても教えません。商売になりませんから。

5 人間は出世したかしないかではありません。いやしいか、いやしくないかです。

6 二百年の木を使ったら、二百年は使える仕事をしなきゃ、木に対して失礼ですから。

7 オイ、若エの。何もできなくてもいいから、せめて、元気のいい返事ができないか。

8 もらった金と稼いだ金は、はっきりと分けなければなりません。分けられない金はもらっちゃあいけません。

9 庭がなければ家庭とは言いません。

10 上手は下手の見本です。下手は上手の見本です。

11 俺は貧乏だ。しかし、貧乏人じゃないよ。

12 忙しい人は、忙しいから色んな事が出来る。やっぱり頼りになるのは忙しい人です。

13 棟梁 小川三夫（茨城）の言葉

大工と言ったら技を当然一人前でなくちゃいかん。その上で人の先に立って仕事の段取りが出来、任せられた仕事をちゃんと出来る人間や。そのために仕事度胸がなくちゃいかん。下の者から信頼されて統率力がなくちゃいかん。技だけでなく人間も磨かれている事だ。世間じゃ金づち持って飽かけられたらみんな大工や思っているけど違う。

14 庭師 飯田寅三郎（千葉）の言葉

庭っていうものは、出来たその時だけを考えて作ったってサマにはなりません。木も草も竹も、いや石だっ育つものなんです。できて何年たつとこの木がこう育つ。この木の芽の色はこう。あの木の芽は色は、ああ。芽吹きの色まで頭に置いて作るのが本当の

庭ってもんなんです。その中で、最初に置いた石や灯籠が落ち着き、苔を付け所を得て行くものですから、石の感じだっでずいぶん変わっていきます。

